

生涯教育研修活動報告書

一般 検査研究班

- 1 実施日時： 2022 年 4 月 22 日 19 時 00 分 ～ 20 時 05 分
- 2 会 場： Web 開催 点数：基礎 — 20 点
- 3 主 題： 基礎から学ぶ一般検査！
①抑えておきたい尿定性検査のお約束！
②当直前に知っておきたい一般検査
- 4 講 師： ①中川 禎己（小川赤十字病院）
②渡邊 裕樹（埼玉医科大学総合医療センター）
- 5 協 賛： なし
- 6 参加人数： 会員 121 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員：藤村和夫 室谷明子 柿沼智史 中川禎己 松本実華
渡邊裕樹 小針奈穂美 織田喜子

8 研修内容の概要・感想など

今年度最初の一般検査研究班主催の研修会を Web 環境にて開催した。

講演①では中川氏より、尿定性検査について講演がなされた。尿定性検査を行うにあたり、4 つの重要なポイントが挙げられた。1 つ目が「採尿方法と保存方法」、2 つ目が「測定時・判定時の留意点」、3 つ目が「各項目の原理と偽反応」、最後に「確認試験」であった。これらを抑えることで、尿検査で質の高い医療の提供が可能になることを、ケトン体が偽陽性を示した患者症例を基に説明されており大変勉強になった。尿定性検査における確認試験は施設により運用が異なり、他施設の運用事例を今回学ぶ事ができ、自施設の運用を見直すきっかけになった。

講演②では渡邊氏より、顕微鏡の使い方、尿沈渣における赤血球形態の鑑別方法、尿沈渣成分の鑑別方法や髄液検査における細胞鑑別方法など、幅広い内容での講演であった。顕微鏡を使って検査をする尿沈渣検査や髄液検査ではコンデンサの芯だしをしっかりと行うことでクリアな鏡検像を得ることが可能になり、誤判定の抑制になるとのことだった。顕微鏡の使い方は普段学習する機会が少ないためとても参考になった。

今回の研修会で学んだ内容を是非、今後の日常業務に活かしていきたい。

提出日 2022年 5月 15日

文責：藤村和夫